

今後のステージの運用及び 感染拡大防止に向けた対策（道案）に対する主な意見

1 専門家等の意見

- ・ステージ運用と対策期間の延長について異論はない。
- ・旭川市への措置についても実施すべき。
- ・札幌市においてはステージ4相当の効果が現れてきているが、医療機関のひっ迫した状況は依然続いており、これ以上負担をかけないためにもこの2週間は重要な局面なので対策の継続が必要。
- ・旭川についても札幌と同様の対策を講じても良いのではないか。
- ・旭川の状況は、危機的であり厳しい対策が必要。
- ・各地で今後行われる成人式や冬まつり等の行事についても自粛や中止の要請をすべきではないか。
- ・集中対策期間の延長については、やむを得ないと思うが、12月25日以降は一部継続の話なので、整理を変えた方が良いのではないか。道民の気持ちも1月15日まで持続できないのではないかと懸念している。
- ・医療提供体制の状況などから考えて、旭川市にも特段の対応を求めるのはやむを得ないと考える。
- ・札幌の感染状況が落ち着いてきているなか、ここで解除すると折角の効果がなくなってしまうとともに、年末・年始の人出を回避する必要があるため、1月15日までの延長は賛成。

2 市町村・関係団体の意見

- ・年末年始に向け、感染拡大を徹底して抑え込むことが必要であり、札幌市に対する強い措置はもとより、道内全域に対しても徹底した対策が必要。
- ・都府県において行動制限が要請されている地域との不要不急の往來を控えることが追記されたが、これに加え、道内の感染者が増えている地域との不要不急の往來自粛などの呼びかけをすることも必要と考える。

- ・一般的な感染拡大防止策は既に一人一人が取り組んでいるので、その徹底を要請することに尽きるのではないかと考える。
- ・集中対策期間が「令和3年1月15日まで」に対し、営業時間の短縮など一部の対策が、12月25日と異なることについて、丁寧な説明が必要。
- ・約2か月半にわたる長期の集中対策期間となることから、道民への集中的な啓発広報について、一層配慮いただき、特に若年層に届くメッセージをお願いしたい。
- ・これまでの対策は一定の効果があったと考えられる一方で、病床数のひっ迫度合いが依然として厳しい状況にあることを考えると、今回の対策はやむを得ないものとする。
- ・対策の延長及び今後のステージの引き上げに伴って、企業の倒産・廃業や従業員の雇止めにつながることをないよう、継続的な支援策をお願いしたい。
- ・感染拡大が一定程度収まった後には、札幌市を含めたこれらの業種に関わる需要の積極的な喚起策を講じていただきたい。
- ・病院、介護施設でのクラスター発生により、働く人への差別がないよう、今一度、啓発に力を入れて頂きたい。
- ・公共交通機関にとって対策の延長は、年末年始の帰省に伴う移動に対しても多大な影響を及ぼすものと考えられ、地域の公共交通を守るため、需要喚起策に加え、損失などに対する支援が不可欠。
- ・集中対策期間の延長や札幌市への強い措置はやむを得ないものとする。